

大学番号 私立252

注3

設置年度 令和 2年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

**認可**

武庫川女子大学 経営学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武庫川学院  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人室法人課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

（夜間） 0798-45-3512

e-mail [hozin@mukogawa-u.ac.jp](mailto:hozin@mukogawa-u.ac.jp)

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	25
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人武庫川学院

## (2) 大学名

武庫川女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558  
兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(フクイ マコト) 福井 誠 (令和2年4月)		
学科長等	(サイドウ ミノル) 西道 実 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	200人	年次人	800人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200人 ( ) [ ]	—人 ( ) [ ]	200人 ( ) [ ]	—人 ( ) [ ]	1.07倍	—	
志願者数	2925 (-) [ 1 ]	— (-) [ - ]	2538 (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
受験者数	2495 (-) [ 1 ]	— (-) [ - ]	2237 (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
合格者数	824 (-) [ 1 ]	— (-) [ - ]	601 (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
B 入学者数	258 (-) [ 1 ]	— (-) [ - ]	170 (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.29		0.85				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	258 [1] ( - )	— [—] ( - )	170 [—] ( - )	— [—] ( - )	
2 年次	/		257 [1] ( - )	— [—] ( - )	
3 年次	/		/		
4 年次	/		/		
計	258 [ 1 ] ( - )		427 [ 1 ] ( - )		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	258 人	1 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	人	進路変更(1人)
令和3年度	427 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		1 人		1 人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{258} = \boxed{0.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{427} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1
	平安朝文学の世界	1前	2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1
	芭蕉と旅	1後	2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1
	日本史の中の女性たち	1前・後	2								1
	日本の画像文化論	1前・後	2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1
	音楽の科学	1前・後	2								1
	先端芸術表現	1前・後	1								1
	自己発見アート	1前・後	1								1
	未来造形	1前・後	1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1
	ミュージカルの実践	1前・後	1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1
	日本の文化 I	1前	2								1
	日本の文化 II	1後	2								1
	遊びの人類学	1後	2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1
	心理学入門	1後	2								1
	人間関係の心理学	1前・後	2								1
	環境心理学入門	1前・後	2				1				1
	心理学実践演習	1前	2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2								1
	カウンセリングの実際	1前・後	2								1
	カウンセリングスキル	1前・後	2								1
	実践カウンセリング	1前・後	2								1
	生涯福祉論	1前・後	2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後	2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後	2								1
	子育てと家族関係	1前	2								1
	「ふつつ」を考える社会学	1前・後	2								1
子育てと母性の気づき	1前	2								1	
現代社会と憲法	1前・後	2								1	
外国から見た日本社会のしくみ	1後	2								1	
都市形成のあゆみと都市生活	1後	2								1	
消費者生活論	1前	2								1	
日本経済のしくみ	1前	2								1	
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1	
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1	
教養としての法律	1前	2						1		1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1
	平安朝文学の世界	1前	2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1
	芭蕉と旅	1後	2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1
	音楽の科学	1前・後	2								1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2								1
	先端芸術表現	1前・後	1								1
	自己発見アート	1前・後	1								1
	未来造形	1前・後	1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1
	日本の文化 I	1前	2								1
	日本の文化 II	1後	2								1
	遊びの人類学	1後	2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1
	心理学入門	1後	2								1
	人間関係の心理学	1前・後	2								1
	環境心理学入門	1前・後	2						1		1
	心理学実践演習	1前	2								1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後	2								1
	日本近代文学の魅力 I	1前	2								1
	日本近代文学の魅力 II	1後	2								1
	平安時代の文学への誘い	1前・後	2								1
	合唱表現 I	1前	1								1
	合唱表現 II	1後	1								1
	書の世界	1前・後	2								1
	生と死の心理学	1後	2								1
	建築文化論	1後	2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2								1
	カウンセリングの実際	1前・後	2								1
カウンセリングスキル	1前・後	2								1	
実践カウンセリング	1前・後	2								1	
生涯福祉論	1前・後	2								1	
社会福祉とボランティア	1前・後	2								1	
福祉レクリエーションの実際	1後	2								1	
子育てと家族関係	1前	2								1	
「ふつつ」を考える社会学	1前・後	2								1	
子育てと母性の気づき	1前	2								1	
現代社会と憲法	1前・後	2								1	
外国から見た日本社会のしくみ	1後	2								1	
消費者生活論	1前	2								1	
日本経済のしくみ	1前	2								1	
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1	
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1	
甲子園と阪神電鉄	1前	2								1	
建築と人間行動	1前	2								1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後	2								1	
教養としての法律	1前	2						1		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	暮らしと法律	1後	2				1					
	世界の大学事情	1前・後	2								1	
	現代世界の教育	1前・後	2								1	
	情報化と教育	1前・後	2								1	
	女性と子どものヘルスケア	1前・後	2								2	
	生命科学入門	1前・後	2								1	
	環境問題の歴史	1前	2								1	
	科学技術の歩み	1後	2								1	
	生命科学の基礎	1前	2								1	
	生活の中の物理学	1後	2								1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1	
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1	
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1	
	色彩情報	1前・後	2								1	
	科学から考える衣服と生活	1後	2								1	
	文化を創造する数学	1前	2								1	
	科学への入門	1前・後	2								1	
	韓国文化の理解	1前・後	2								1	
	中国文化論	1前・後	2								1	
	World English I	1前	2								1	
	World English II	1後	2								1	
	世界の中の日本人	1前	2								1	
	国際協力入門	1前	2								1	
	大学生活入門	1前・後	2								1	
	Japanese Culture Influence I	1前	2								1	
	Japanese Culture Influence II	1後	2								1	
	モラルジレンマから考える私	1前	2								1	
	女性のためのマーケティング	1前・後	2			1						
	アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1	
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1	
	女性と教育	1前・後	2								1	
	メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1	
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1	
	女性と家族のゆくえ	1前・後	2								1	
	文章表現の基礎	1前・後	2								1	
プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1		
日本語表現の基礎	1前・後	2								1		
自己アピールトレーニング	1前・後	2								1		
女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1		
キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	暮らしと法律	1後	2							1		
	現代世界の教育	1前・後	2								1	
	情報化と教育	1前・後	2								1	
	女性と子どものヘルスケア	1後	2								2	
	メディアに映る女性	1前・後	2								1	
	生きがい探しのボランティア論	1前・後	2								1	
	メディア技術と文字デザイン	1前	2								1	
	生命科学入門	1前・後	2								1	
	環境問題の歴史	1前	2								1	
	科学技術の歩み	1後	2								1	
	生命科学の基礎	1前	2								1	
	生活の中の物理学	1後	2								1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1	
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1	
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1	
	文化を創造する数学	1前	2								1	
	科学への入門	1前・後	2								1	
	数や図形の科学	1後	2								1	
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後	2								1	
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後	2								1	
	健康を支える仕組み	1前・後	2								2	
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後	2								1	
	薬の歴史と未来	1後	2								2	
	薬とからだ	1後	2								2	
	健康生活とライフステージ	1前	2								3	
	医薬品概論	1前	2								2	
	韓流ブーム	1前・後	2								1	
	韓国文化の理解	1前・後	2								1	
	中国文化論	1前・後	2								1	
	World English I	1前	2								1	
	World English II	1後	2								1	
	世界の中の日本人	1前	2								1	
	国際協力入門	1前	2								1	
	モラルジレンマから考える私	1前	2								1	
	女性のためのマーケティング	1前・後	2							1		
テレビ映像と現代社会	1前・後	2								1		
命を守る生体の機構と科学	1前・後	2								1		
アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1		
ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1		
女性と教育	1前・後	2								1		
メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1		
女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1		
ジェンダーと社会	1後	2								1		
女性が輝く社会づくり	1前・後	2								1		
セクシュアリティ入門	1前・後	2								1		
文章表現の基礎	1前・後	2								1		
プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1		
自己アピールトレーニング	1前・後	2								1		
女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1		
キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2							1			
キャリアと学び	1前	2								1		
卒業生が語る仕事と人生	1後	2								1		
仕事力を考える	1前・後	2								1		
公務員の魅力	1前	2								1		
ヒューマンスキル入門	1前	2								1		
パーソナルコミュニケーション	1後	2								1		
チームで学ぶ課題解決	1前・後	2								1		
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後	2								1		
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前	2								1		



科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	英語コミュニケーション I	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1							2
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1							2
	英語リーディング I	1前・後		1							1
	英語リーディング II	1前・後		1							1
	英語ライティング I	1前・後		1							2
	英語ライティング II	1前・後		1							1
	TOEIC演習 I	1前・後		1							1
	TOEIC演習 II	1前・後		1							1
	TOEIC演習 III	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1後		1							1
	Speaking & Listening I	2前		1							1
	Speaking & Listening II	2後		1							1
	Speaking & Listening III	3後		1							1
	Basics for Presentation I	2前		1							1
	Basics for Presentation II	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	Presentation I	3前		1							1
	Presentation II	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current Events I	4前		1							1
	Current Events II	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global Communication I	4前		1							1
	Global Communication II	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
共通教育科目	Writing for Daily Use	3前		1							1
	ドイツ語 I	1前・後		2							3
	ドイツ語 II	1前・後		2							1
	フランス語 I	1前・後		2							2
	フランス語 II	1後		2							1
	中国語 I	1前・後		2							3
	中国語 II	1前・後		2							3
	イタリア語 I	1前・後		1							1
	イタリア語 II	1前・後		1							1
	スペイン語 I	1前		2							1
ハンブル I	1前・後		2							2	
ハンブル II	1後		2							2	
手話	1前		1							2	
特別英語演習 I	1前・後		4							1	
特別英語演習 II	1前・後		4							1	
特別中国語演習 I	1前		2							1	
特別中国語演習 II	1前		2							1	
特別ハンブル演習 I	1前		4							1	
特別ハンブル演習 II	1前		4							1	
グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
フォトタッチ基礎	1前		2							1	
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンス入門	1前・後		2							1	
データサイエンス演習	1後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	グローバル化と企業の高付加価値	1後		2							1
	英語コミュニケーション I	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1							1
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1							1
	英語リーディング I	1前・後		1							2
	英語リーディング II	1前・後		1							1
	英語ライティング I	1前・後		1							2
	英語ライティング II	1前・後		1							1
	TOEIC演習 I	1前・後		1							1
	TOEIC演習 II	1前・後		1							1
	TOEIC演習 III	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1後		1							1
	TOEIC(初級)	1後		1							1
	Speaking & Listening I	2前		1							1
	Speaking & Listening II	2後		1							1
	Speaking & Listening III	3前		1							1
	Basics for Presentation I	2前		1							1
	Basics for Presentation II	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	Presentation	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current Events I	4前		1							1
	Current Events II	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global Communication I	4前		1							1
	Global Communication II	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
共通教育科目	ドイツ語 I	1前・後		2							2
	ドイツ語 II	1前・後		2							1
	フランス語 I	1前・後		2							2
	フランス語 II	1後		2							1
	フランス語 I A	1前		1							1
	フランス語 I B	1後		1							1
	中国語 I	1前・後		2							3
	中国語 II	1前・後		2							3
	イタリア語 I A	1前・後		1							1
	イタリア語 I B	1前・後		1							1
スペイン語 I	1前		2							1	
ハンブル I	1前・後		2							2	
ハンブル II	1後		2							2	
手話	1前		1							2	
特別英語演習 I	1前・後		4							1	
特別英語演習 II	1前・後		4							1	
特別中国語演習 I	1前		2							1	
特別中国語演習 II	1前		2							1	
特別ハンブル演習 I	1前		4							1	
特別ハンブル演習 II	1前		4							1	
Writing I	3前		1							1	
Writing II	3後		1							1	
グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
フォトタッチ基礎	1前		2							1	
Webデザイン基礎	1前・後		2							1	
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2							1	
データサイエンスの応用とExcel	1前・後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
知っておきたい応急処置	1前		2							1	
女性の健康と運動	1前・後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	スポーツ実技(テニス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後	1								1
	マッサージ実習	1後	1								1
学び発見ゼミ	1前・後	2			1					25	
小計(157科目)	-	0	272	0	3	0	1	1	0	102	
基礎教育科目	Oral Communication	1前	2								1
	Business English I	1後	2								2
	Business English II	2前	2								2
	情報リテラシー I	1前	2			1		1			1
	情報リテラシー II	1後	2			1		1			1
	経営学入門	1前	2				1				
	経営組織論	1後	2			1					
	ビジネスプラン構築論	1後	2								1
	経営戦略論入門	2前	2			1					
	経営環境論	2前	2			1					
	労使コミュニケーション論	2前	2			1					
	協働プロジェクト論	2前	2								1
	組織行動論	2後	2			1					
	会計入門	1前	2			1					
	商業簿記 I	1後	2			1					
	商業簿記 II	2前	2			1					
	原価計算 I	2前	2								1
	原価計算 II	2後	2								1
	企業財務論	2前	2			1					
	マーケティング入門	1前	2				1				
	マーケティングリサーチ	1後	2			1					
	デジタルマーケティング	2前	2								1
	消費者思考の製品開発	2後	2				1				
	統計入門	1後	2								1
	統計解析	2前・後	2								1
	ネットビジネス入門	1前	2					1			
	クラウド入門	1後	2			1					
企業情報システム I	2後	2					1				
経済学入門	1前	2						1			
ヴィジュアルマーチャンダイジング	2後	2								1	
パブリックマネジメント入門	1前	2			1						
法律入門 I	1前	2					1				
法律入門 II	1後	2					1				
民法入門 I	1後	2								1	
民法入門 II	2前	2								1	
地域振興論	1後	2					1				
中小企業イノベーション論	2前	2					1				
企業の社会連携論	2前	2						1			
公共総合基礎演習 I	2前	2					1	1			
公共総合基礎演習 II	2後	2					1	1			
CSR	2後	2								1	
ビジネスシンキング	1前・後	2			2						
論理と数理入門	1前・後	2							1		
消費者行動論	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生涯スポーツ論	1後	2								1
	スポーツと現代社会	1前・後	2								1
	スポーツ実技(テニス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(水泳)	1後	1								1
	スポーツ実技(サッカー)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後	1								1
	からだと気づきと姿勢法	1後	1								1
	スポーツ実技(ハルビエエクササイズ)	1前・後	1								1
	スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後	1								1
学び発見ゼミ	1前・後	2			1					39	
小計(197科目)	-	0	344	0	3	0	1	1	0	136	
基礎教育科目	Oral Communication	1前	2								1
	Business English I	1後	2								2
	Business English II	2前	2								2
	情報リテラシー I	1前	2			1		1			1
	情報リテラシー II	1後	2			1		1			1
	経営学入門	1前	2				1				
	経営組織論	1後	2			1					
	ビジネスプラン構築論	1後	2								1
	経営戦略論入門	2前	2			1					
	経営環境論	2前	2			1					
	労使コミュニケーション論	2前	2			1					
	協働プロジェクト論	2前	2								1
	組織行動論	2後	2			1					
	会計入門	1前	2			1					
	商業簿記 I	1後	2			1					
	商業簿記 II	2前	2			1					
	原価計算 I	2前	2								1
	原価計算 II	2後	2								1
	企業財務論	2前	2			1					
	マーケティング入門	1前	2				1				
	マーケティングリサーチ	1後	2			1					
	デジタルマーケティング	2前	2								1
	消費者思考の製品開発	2後	2					1			
	統計入門	1後	2								1
	統計解析	2前・後	2								1
	ネットビジネス入門	1前	2					1			
	クラウド入門	1後	2			1					
企業情報システム I	2後	2					1				
経済学入門	1前	2						1			
ヴィジュアルマーチャンダイジング	2後	2								1	
パブリックマネジメント入門	1前	2			1						
法律入門 I	1前	2					1				
法律入門 II	1後	2					1				
民法入門 I	1後	2								1	
民法入門 II	2前	2								1	
地域振興論	1後	2					1				
中小企業イノベーション論	2前	2					1				
企業の社会連携論	2前	2						1			
公共総合基礎演習 I	2前	2					1	1			
公共総合基礎演習 II	2後	2					1	1			
CSR	2後	2								1	
ビジネスシンキング	1前・後	2			2						
論理と数理入門	1前・後	2							1		
消費者行動論	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	デザイン思考	2前	2								1
	ロジカルシンキング	2前	2								1
	社会心理学	2前	2			1					
	キャリアデザイン特講Ⅰ	1後	2			1	2	1			
	キャリアデザイン特講Ⅱ	3後	2			1					
	初期演習Ⅰ	1前	1			2	1	1			
	初期演習Ⅱ	1後	1			2	1	1			
	経営課題演習Ⅰ	2前	2			2	1	1			
	経営課題演習Ⅱ	2後	2			2	1	1			
	実践へのいざない	1前	2			2					
	インターンシップ	2後	1~3			1					
	サービスラーニング	2前	1~3			1					
フィールドワーク	1前	1~3			1						
小計(57科目)	-	28	81~87	0	9	2	3	2	0	13	
専門教育科目	経営管理論	2後	2			1					
	流通小売論	2後	2			1					
	財務会計論Ⅰ	2後	2			1					
	管理会計論Ⅰ	2後	2								1
	経営戦略論Ⅰ	3前	2			1					
	マーケティング戦略論	3前	2			1					
	AI戦略論	3前・後	2			1					
	商品企画論	3前	2				1				
	ビジネスモデル論	3前	2			1					
	中小企業論	3前	2					1			
	財務会計論Ⅱ	3前	2			1					
	人的資源管理論	3前	2			1					
	対人関係論	3前	2			1					
	労働経済論	3前	2			1					
	ベンチャービジネス論	3前	2								1
	企業情報システムⅡ	3前	2								1
	管理会計論Ⅱ	3前	2								1
	経営戦略論Ⅱ	3後	2			1					
	デジタル戦略論	3後	2					1			
	パブリックリレーションズ	3後	2				1				
	広告・セールスプロモーション	3後	2				1				
	サプライチェーンマネジメント	3後	2			1					
	上級財務会計論	3後	2			1					
	イノベーションプロセス論	3後	2				1				
	Writing	2後	3								1
	Reading	2後	3								1
	Conversation	2後	3								1
	Microeconomics	2後	2								1
	Financial Accounting	2後	2								1
	Corporate Finance	2後	2								1
	ビジネスライティング	3前	2								1
	スピーチプレゼンテーション	3前	2								1
	経験価値マネジメント	3前	2			1					
	グローバル経営論	3後	2			1					
	グローバル製品開発論	3後	2				1				
	ブランド戦略論	3後	2				1				
企業の投資意思決定	3後	2			1						
M&Aと企業価値評価	3後	2								1	
新興国企業論	3後	2								1	
パブリックマネジメント	2後	2			1						
産学教育連携論	2後	2						1			
環境マーケティング	2後	2						1			
公共政策論	3前	2			1						
地域産業論	3前	2							1		
地方財政論	3前	2								1	
市民協働参画論	3前	2								1	
行政法	3前	2								1	
福祉経営論	3前	2								1	
地域政策論	3後	2			1						
情報政策論	3後	2			1						
地域ブランド論	3後	2					1				
地域防災・復興論	3後	2								1	
美容業界論	3前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	デザイン思考	2前	2								1
	ロジカルシンキング	1後	2								1
	社会心理学	2前	2			1					
	キャリアデザイン特講Ⅰ	1後	2			1	2	1			
	キャリアデザイン特講Ⅱ	3後	2			1					
	初期演習Ⅰ	1前	1			2	1	1			
	初期演習Ⅱ	1後	1			2	1	1			
	経営課題演習Ⅰ	2前	2			2	1	1			
	経営課題演習Ⅱ	2後	2			2	1	1			
	実践へのいざない	1前	2			2					
	インターンシップ	2前・後	1~3			1					
	サービスラーニング	2前・後	1~3			1					
フィールドワーク	2前・後	1~3			1						
小計(57科目)	-	28	81~87	0	9	2	3	2	0	13	
専門教育科目	経営管理論	2後	2			1					
	流通小売論	2後	2			1					
	財務会計論Ⅰ	2後	2			1					
	管理会計論Ⅰ	2後	2								1
	経営戦略論Ⅰ	3前	2			1					
	マーケティング戦略論	3前	2			1					
	AI戦略論	3前・後	2			1					
	商品企画論	3前	2				1				
	ビジネスモデル論	3前	2			1					
	中小企業論	3前	2					1			
	財務会計論Ⅱ	3前	2			1					
	人的資源管理論	3前	2			1					
	対人関係論	3前	2			1					
	労働経済論	3前	2			1					
	ベンチャービジネス論	3前	2								1
	企業情報システムⅡ	3前	2								1
	管理会計論Ⅱ	3前	2								1
	経営戦略論Ⅱ	3後	2			1					
	デジタル戦略論	3後	2					1			
	パブリックリレーションズ	3後	2				1				
	広告・セールスプロモーション	3後	2				1				
	サプライチェーンマネジメント	3後	2			1					
	上級財務会計論	3後	2			1					
	イノベーションプロセス論	3後	2				1				
	Writing	2後	3								1
	Reading	2後	3								1
	Conversation	2後	3								1
	Microeconomics	2後	2								1
	Financial Accounting	2後	2								1
	Corporate Finance	2後	2								1
	ビジネスライティング	3前	2								1
	スピーチプレゼンテーション	3前	2								1
	経験価値マネジメント	3前	2			1					
	グローバル経営論	3後	2			1					
	グローバル製品開発論	3後	2				1				
	ブランド戦略論	3後	2				1				
企業の投資意思決定	3後	2			1						
M&Aと企業価値評価	3後	2								1	
新興国企業論	3後	2								1	
パブリックマネジメント	2後	2			1						
産学教育連携論	2後	2						1			
環境マーケティング	2後	2						1			
公共政策論	3前	2			1						
地域産業論	3前	2							1		
地方財政論	3前	2								1	
市民協働参画論	3前	2								1	
行政法	3前	2								1	
福祉経営論	3前	2								1	
地域政策論	3後	2			1						
情報政策論	3後	2			1						
地域ブランド論	3後	2					1				
地域防災・復興論	3後	2								1	
美容業界論	3前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1			
	卒業研究	4通	4			9	2	3	1			
	小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17	
	合計(279科目)	-	40	476~492	0	9	2	3	2	0	125	
卒業要件及び履修方法												
<p>4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。</p> <p>(履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1			
	卒業研究	4通	4			9	2	3	1			
	小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17	
	合計(319科目)	-	40	554	0	9	2	3	2	0	159	
卒業要件及び履修方法												
<p>4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。</p> <p>(履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2								1
	平安朝文学の世界	1前		2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2								1
	雨月物語に込められた情念	1前		2								1
	芭蕉と旅	1後		2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1								1
	音楽の科学	1前・後		2								1
	先端芸術表現	1前・後		1								1
	自己発見アート	1前・後		1								1
	未来造形	1前・後		1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1								1
	ミュージカルの実践	1前・後		1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2								1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								1
	遊びの人類学	1後		2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2								1
	環境心理学入門	1前・後		2			1					
	江戸時代と現代の道徳の比較	1前		2								1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2								1
	「昔話」と「昔語り」	1後		2								1
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2								1
	日本語と英語の比較	1前・後		2								1
	合唱表現Ⅰ	1前		1								1
	合唱表現Ⅱ	1後		1								1
	生活の中の美的感動表現	1前・後		1								1
	感性の書	1前・後		2								1
	書の世界	1前・後		2								1
	口承文芸入門	1前		2								1
	生と死の心理学	1後		2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2								1
	カウンセリングの実際	1前・後		2								1
	カウンセリングスキル	1前・後		2								1
	実践カウンセリング	1前・後		2								1
	生涯福祉論	1前・後		2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2								1
	子育てと家族関係	1前		2								1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2								1
	子育てと母性の気づき	1前		2								1
	現代社会と憲法	1前・後		2								1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2								1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2								1
	消費者生活論	1前		2								1
	日本経済のしくみ	1前		2								1
英語で学ぶお金の知識	1後		2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2								1	
教養としての法律	1前		2					1				
暮らしと法律	1後		2					1				
世界の大学事情	1前		2								1	
現代世界の教育	1前・後		2								1	
情報化と教育	1前・後		2								1	
女性と子どものヘルスケア	1後		2								2	
メディアに映る女性	1前・後		2								1	
災害と子ども・家族	1前		2								1	
生きがい探しのボランティア論	1前・後		2								1	
聴覚障害者の理解と手話	1前・後		2								1	
情報と社会	1前・後		2								1	
メディア技術と文字デザイン	1前		2								1	
生命科学入門	1前・後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	環境問題の歴史	1前		2								1
	科学技術の歩み	1後		2								1
	生命科学の基礎	1前		2								1
	生活の中の物理学	1後		2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2								1
	色彩情報	1前・後		2								1
	文化を創造する数学	1前		2								1
	科学への入門	1前・後		2								1
	数的能力の発達過程	1前・後		2								1
	数や図形の科学	1前・後		2								1
	生態学的視覚論	1前		2								1
	視覚認知	1後		2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2								1
	健康を支える仕組み	1前・後		2								2
	生活習慣と脳と心と身体の科学	1前・後		2								1
	韓国文化の理解	1前・後		2								1
	中国文化論	1前・後		2								1
	World English I	1前		2								1
	World English II	1後		2								1
	世界の中の日本人	1前		2								1
	漢字がつなぐ東アジア	1前・後		2								1
	大学生生活入門	1前・後		2								1
	Japanese Culture Influence I	1前		2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		1						
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2								1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2								1
共通教育科目	女性と教育	1前・後		2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2								1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2								1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2								1
	文章表現の基礎	1前・後		2								1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2								1
	日本語表現の基礎	1前・後		2								1
	自己アピールトレーニング	1前・後		2								1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2								1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2					1			
	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								1
	ヒューマンズスキル入門	1前		2								1
	パーソナルコミュニケーション	1後		2								1
	チームで学ぶ課題解決	1前・後		2								1
	企業での女性活動と働き方改革	1前・後		2								1
	企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2								1
	グローバル化と企業の海外展開	1後		2								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2								1
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2								1
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後		1								1
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後		1								1
	英語リーディングⅠ	1前・後		1								2
英語リーディングⅡ	1前・後		1								2	
英語ライティングⅠ	1前・後		1								1	
英語ライティングⅡ	1前・後		1								1	
TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1								1	
TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1								1	
TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1								1	
TOEFL演習	1後		1								1	
TOEIC(初級)	1後		1								1	
Speaking & Listening Ⅰ	2前		1								1	
Speaking & Listening Ⅱ	2後		1								1	
Speaking & Listening Ⅲ	3後		1								1	
Basics for Presentation Ⅰ	2前		1								1	
Basics for Presentation Ⅱ	2後		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	<b>Presentation</b>	<b>3後</b>		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current Events I	4前		1							1
	Current Events II	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global Communication I	4前		1							1
	Global Communication II	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	ドイツ語 I	1前・後		2							3
	ドイツ語 II	1前・後		2							1
	フランス語 I	1前・後		2							2
	フランス語 II	1後		2							1
	<b>フランス語 I A</b>	<b>1前</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>フランス語 I B</b>	<b>1後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	中国語 I	1前・後		2							3
	中国語 II	1前・後		2							3
	<b>イタリア語 I A</b>	<b>1前・後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>イタリア語 I B</b>	<b>1前・後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	スペイン語 I	1前		2							1
	ハンゲル I	1前・後		2							2
	ハンゲル II	1後		2							1
	手話	1前		1							2
	特別英語演習 I	1前・後		4							1
	特別英語演習 II	1前・後		4							1
	特別中国語演習 I	1前		2							1
	特別中国語演習 II	1前		2							1
	特別ハンゲル演習 I	1前		4							1
	特別ハンゲル演習 II	1前		4							1
	<b>Writing I</b>	<b>3前</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>Writing II</b>	<b>3後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	グラフィックデザイン基礎	1後		2							1
	フォトタッチ基礎	1前		2							1
	<b>Webデザイン基礎</b>	<b>1前・後</b>		<b>2</b>							<b>1</b>
	Webデザイン応用	1前・後		2							1
	情報社会を生きる技術	1前・後		2							1
	Accessデータベース基礎	1前・後		2							1
	データサイエンス入門	1前・後		2							1
	データサイエンス演習	1後		2							1
	スポーツと栄養	1前・後		2							1
	ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2							1
	<b>障害者とスポーツ</b>	<b>1前・後</b>		<b>2</b>							<b>1</b>
	<b>知っておきたい救急処置</b>	<b>1前</b>		<b>2</b>							<b>1</b>
	<b>女性の健康と運動</b>	<b>1前・後</b>		<b>2</b>							<b>1</b>
	スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1							1
	<b>スポーツ実技(水泳)</b>	<b>1前・後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>スポーツ実技(サッカー)</b>	<b>1前・後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>スポーツ実技(エアリアルワーク)</b>	<b>1前・後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	<b>からだ気持ちと姿勢法</b>	<b>1後</b>		<b>1</b>							<b>1</b>
	学び発見ゼミ	1前・後		2		1					41
	小計(195科目)	-	0	339	0	3	0	1	1	0	139
基礎教育科目	Oral Communication	1前	2								1
	Business English I	1後	2								2
	Business English II	2前		2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	情報リテラシーⅠ	1前	2			1		1				1
	情報リテラシーⅡ	1後	2			1		1				1
	経営学入門	1前	2				1					
	経営組織論	1後		2		1						
	ビジネスプラン構築論	1後		2								1
	経営戦略論入門	2前		2		1						
	経営環境論	2前		2		1						
	労使コミュニケーション論	2前		2		1						
	協働プロジェクト論	2前		2								1
	組織行動論	2後		2		1						
	会計入門	1前	2			1						
	商業簿記Ⅰ	1後		2		1						
	商業簿記Ⅱ	2前		2		1						
	原価計算Ⅰ	2前		2								1
	原価計算Ⅱ	2後		2								1
	企業財務論	2前		2		1						
	マーケティング入門	1前	2				1					
	マーケティングリサーチ	1後		2		1						
	デジタルマーケティング	2前		2								1
	消費者思考の製品開発	2後		2			1					
	統計入門	1後		2								1
	統計解析	2前・後		2								1
	ネットビジネス入門	1前・後		2				1				
	クラウド入門	1前・後		2		1						
	企業情報システムⅠ	2後		2				1				
	経済学入門	1前		2					1			
	ヴィジュアルマーチャンダイジング	2後		2								1
	パブリックマネジメント入門	1前		2		1						
	法律入門Ⅰ	1前	2					1				
	法律入門Ⅱ	1後		2				1				
	民法入門Ⅰ	1後		2								1
	民法入門Ⅱ	2前		2								1
	地域振興論	1後		2				1				
	中小企業イノベーション論	2前		2				1				
	企業の社会連携論	2前		2					1			
	公共総合基礎演習Ⅰ	2前		2				1	1			
	公共総合基礎演習Ⅱ	2後		2				1	1			
	CSR	2後		2					1			
	ビジネスシンキング	1前・後	2			2						
	論理と数理入門	1前・後		2					1			
	消費者行動論	1後		2		1						
	デザイン思考	2前		2								1
	ロジカルシンキング	1後		2								1
	社会心理学	2前		2		1						
	キャリアデザイン特講Ⅰ	1後	2			1	2	1				
	キャリアデザイン特講Ⅱ	3後		2								
	初期演習Ⅰ	1前		1		2	1	1				
初期演習Ⅱ	1後		1		2	1	1					
経営課題演習Ⅰ	2前		2		2	1	1					
経営課題演習Ⅱ	2後		2		2	1	1					
実践へのいざない	1前		2		2							
インターンシップ	2後		1~3		1							
サービスラーニング	2前		1~3		1							
フィールドワーク	1前		1~3		1							
小計(57科目)	-		28	81~87	0	9	2	3	2	0	13	
専門教育科目	経営管理論	2後		2		1						
	流通小売論	2後		2		1						
	財務会計論Ⅰ	2後		2		1						
	管理会計論Ⅰ	2後		2								1
	経営戦略論Ⅰ	3前		2		1						
	マーケティング戦略論	3前		2		1						
	AI戦略論	3前・後		2		1						
	商品企画論	3前		2			1					
	ビジネスモデル論	3前		2		1						
	中小企業論	3前		2				1				
	財務会計論Ⅱ	3前		2		1						
人的資源管理論	3前		2		1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	対人関係論	3前		2		1						
	労働経済論	3前		2		1						
	ベンチャービジネス論	3前		2								1
	企業情報システムⅡ	3前		2								1
	管理会計論Ⅱ	3前		2								1
	経営戦略論Ⅱ	3後		2		1						
	デジタル戦略論	3後		2				1				
	パブリックリレーションズ	3後		2			1					
	広告・セールスプロモーション	3後		2			1					
	サプライチェーンマネジメント	3後		2		1						
	上級財務会計論	3後		2		1						
	イノベーションプロセス論	3後		2			1					
	Writing	2後		3								1
	Reading	2後		3								1
	Conversation	2後		3								1
	Microeconomics	2後		2								1
	Financial Accounting	2後		2								1
	Corporate Finance	2後		2								1
	ビジネスライティング	3前		2								1
	スピーチプレゼンテーション	3前		2								1
	経験価値マネジメント	3前		2		1						
	グローバル経営論	3後		2		1						
	グローバル製品開発論	3後		2			1					
	ブランド戦略論	3後		2			1					
	企業の投資意思決定	3後		2		1						
	M&Aと企業価値評価	3後		2								1
	新興国企業論	3後		2								1
	パブリックマネジメント	2後		2		1						
	産学教育連携論	2後		2					1			
	環境マーケティング	2後		2					1			
	公共政策論	3前		2		1						
	地域産業論	3前		2					1			
	地方財政論	3前		2								1
	市民協働参画論	3前		2								1
	行政法	3前		2								1
	福祉経営論	3前		2								1
	地域政策論	3後		2		1						
	情報政策論	3後		2		1						
	地域ブランド論	3後		2					1			
	地域防災・復興論	3後		2								1
	美容業界論	3前		2			1					
	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1	
専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1				
専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1				
専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1				
専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1				
卒業研究	4通	4			9	2	3	1				
小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0		17	
合計(317科目)	-	40	549	0	9	2	3	2	0		163	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。												
(履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))												

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「世界の大学事情」の開講期を、1年前期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「女性と子どものヘルスケア」の開講期を、1年後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活動と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC（初級）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止し、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（サッカー）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（エアリアルワーク）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだと気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「25」から「41（兼任34・兼任7）」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「ネットビジネス入門」の配当年次を、「1前・後」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「クラウド入門」の配当年次を、「1前・後」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ロジカルシンキング」の配当年次を、「1後」に変更。

### 【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「知っておきたい救急処置」の科目名を「知っておきたい応急処置」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（バンジエクスサイズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（スタイルジャズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「25」から「39（兼任32・兼任7）」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「インターンシップ」の配当年次を、「2前・後」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「サービスマーケティング」の配当年次を、「2前・後」に変更。
- ・コロナ禍のため「フィールドワーク」の配当年次を、「2前・後」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	259 科目	0 科目	279 科目	20 科目 [0]	299 科目 [40]	0 科目 [0]	319 科目 [40]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
3	ミュージカルの実践	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
4	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
5	世界の大学事情	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
6	色彩情報	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
7	科学から考える衣服と生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
8	大学生生活入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
9	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
10	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
11	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
12	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
13	Presentation II	1	3後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
14	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
15	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
16	スポーツ実技(ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
17	マッサージ実習	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【所見】 廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部の学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。

【学生への周知方法】  
学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{17}{279} = \boxed{6.09} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部 (必要面積14,000 ㎡) と共用  駐輪場取得、西北新校 舎敷地取得 (3)  駐輪場取得、3F一部耐震工に伴 う用途変更 (2)  校舎敷地と別地 (徒歩10分)  借用面積:1,129.19㎡ 借用期間:27年8月(令 和30年11月まで)  若草シェアハウス・甲 子園口寮取得 (2)		
	校舎敷地		77,280.48 <del>73,384.59</del>		145,320.08 <del>141,424.19</del>			
	運動場用地	68,039.60 ㎡	72,518.66 ㎡	0 ㎡	140,558.26 ㎡			
	小 計		169,798.23 <del>165,887.34</del>		237,822.83 <del>233,926.94</del>			
	そ の 他	0 ㎡	9,627.66 <del>8,404.89</del>	0 ㎡	9,627.66 <del>8,404.89</del>			
	合 計	68,039.60 ㎡	179,410.89 <del>175,515.00</del>	0 ㎡	247,450.49 <del>243,554.60</del>			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部 (必要面積10,450 ㎡) と共用  景観建築スタジオ東 館新築、向面積差異 修正、甲子園会館内 研究所用途変更、西 北新校舎取得、7Fガ レージ7階内研究所用 途変更 (3)  華SAKU面積重複、講堂 E.V不算入、5F-501キ ャス・公江記念館竣工 に伴う面積差異修正、 南館実習室用途変更 (2)		
		72,132.21 <del>71,726.26</del>	120,147.32 <del>114,909.81</del>		192,279.53 <del>186,636.07</del>			
		72,010.29 ㎡	115,605.29 ㎡	0 ㎡	187,615.58 ㎡			
		(69,363.31) <del>(67,972.36)</del>	(116,078.32) <del>(110,840.81)</del>	(0 ㎡)	(185,441.63) <del>(178,813.17)</del>			
		(68,256.39 ㎡)	(111,536.29 ㎡)	(0 ㎡)	(179,792.68 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	153 室	208 室	442 室	12 室 (補助職員 1人)	4 室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	経営学部 経営学科			18 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用部分 を含む	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					電子ジャーナル
		冊	種					〔うち外国書〕
		冊	種					〔うち外国書〕
経営学部経営学科	13,132 [1,119] (11,989 [ 936])	220 [36] (220 [36])	1 [0] (1 [0])	68 (68)	204 (196)	0 (0)	図書10,169冊 [645 冊] 学術雑誌196種 [32 種] 視聴覚資料68点	
計	13,132 [1,119] (11,989 [ 936])	220 [36] (220 [36])	1 [0] (1 [0])	68 (68)	204 (196)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
12,499.61 ㎡	1,716 1,688		868,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	17,497.24 <del>17,308.50</del> ㎡	総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。 第1年次には入学金200 千円を含む
		教員1人当り研究費等	270千円	270千円	図書購入費	13,065千円	2,902千円	
	共 同 研 究 費 等	2,000千円	3,600千円	設備購入費	260,344千円	1,000千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	武庫川女子大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	3年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	510	3年次 67	2,424	—	0.97	0.90	—	昭和33	—	
日本語日文学科	4	150	3年次 25	650	学士 (日本語日文学)	0.97	0.89	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号	
英語文化学科	4	200	3年次 25	850	学士 (英語文化学)	0.96	0.92	—	昭和33	同上	
教育学科	4	—	—	250	学士 (教育学)	—	—	—	昭和38	同上	平成31年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和3年4月学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	160	3年次 17	674	学士 (心理学)又は (社会福祉学)	0.98	0.89	—	平成12	同上	
教育学部	4	240	3年次 25	745	—	0.94	0.92	令和元	令和元	—	
教育学科	4	240	3年次 25	745	学士 (教育学)	0.94	0.92	令和元	令和元	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度設置
健康・スポーツ科学部	4	180	3年次 20	730	—	0.99	0.88	令和元	平成23	—	
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次 20	730	学士 (健康・スポーツ科学)	0.99	0.88	令和元	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(30)、3年次編入学(5)
生活環境学部	4	315	3年次 30	1,765	—	0.98	1.02	令和元	平成6	—	
生活環境学科	4	165	3年次 20	665	学士 (生活環境学)	1.00	1.01	令和元	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(35)
食物栄養学科	4	—	3年次 10	420	学士 (食物栄養学)	—	—	—	平成6	同上	令和2年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和4年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	0.99	1.02	—	平成6	同上	
建築学科	4	—	—	80	学士 (建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
食物栄養科学部	4	280	—	560	—	0.85	0.78	令和2	令和2	—	
食物栄養学科	4	200	—	400	学士 (食物栄養学)	0.89	0.79	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
食創造科学科	4	80	—	160	学士 (食創造科学)	0.77	0.78	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学部	4	85	—	170	—	1.05	0.96	令和2	令和2	—	
建築学科	4	45	—	90	学士 (建築学)	1.17	1.11	令和2	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度設置
景観建築学科	4	40	—	89	学士 (景観建築学)	0.92	0.80	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
音楽学部	4	50	—	200	—	0.82	0.64	—	平成21	—	
演奏学科	4	30	—	120	学士 (声楽)又は(器楽)	0.63	0.43	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号	
応用音楽学科	4	20	—	80	学士 (応用音楽)	1.10	0.95	—	平成21	同上	
薬学部(6年制)	6	210	—	1,260	—	0.89	0.58	—	平成18	—	
薬学科	6	210	—	1,260	学士 (薬学)	0.89	0.58	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬学部(4年制)	4	40	—	160	—	0.83	0.75	—	平成18	—	
健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士 (薬科学)	0.83	0.75	—	平成18	同上	
看護学部	4	80	—	320	—	0.99	1.03	—	平成27	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	0.99	1.03	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	
経営学部	4	200	—	400	—	1.07	0.85	令和2	令和2	—	
経営学科	4	200	—	400	学士 (経営学)	1.07	0.85	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
大学全体	—	2,190	3年次 142	8,743	—	0.94	—	—	—	—	

大学 の 名 称	武庫川女子大学大学院					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学研究科											
日本語日本文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.37	0.16	—	昭和46	兵庫県西宮市池開町6番46号	
日本語日本文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.33	—	平成3	同上	
英語英米文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.08	0.16	—	昭和46	同上	
英語英米文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.44	0.00	—	平成12	同上	
教育学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(教育学)	0.24	0.16	—	平成17	同上	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(臨床心理学)	0.57	0.65	—	平成11	同上	
臨床教育学研究科											
臨床教育学専攻(修士課程)	2	16	—	32	修士(臨床教育学)	0.77	0.43	—	平成6	同上	
臨床教育学専攻(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(臨床教育学)又は(教育学)又は(臨床心理学)	0.38	0.33	—	平成9	同上	
健康・スポーツ科学研究科											
健康・スポーツ科学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(健康科学)又は(スポーツ科学)	0.22	0.15	—	平成23	同上	
生活環境学研究科											
食物栄養学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(食物栄養学)	0.45	0.50	—	昭和41	同上	
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	1.00	0.50	—	平成2	同上	
生活環境学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(生活環境学)又は(情報科学)(7学)	0.08	0.00	—	平成12	同上	
生活環境学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(生活環境学)又は(情報科学)(7学)	0.16	0.00	—	平成12	同上	
建築学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
建築学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(建築学)	—	—	—	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
建築学研究科											
建築学専攻(修士課程)	2	22	—	44	修士(建築学)	0.99	0.86	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学専攻(博士後期課程)	3	2	—	4	博士(建築学)	0.25	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(景観建築学)	2.33	2.33	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(博士後期課程)	3	1	—	2	博士(景観建築学)	0.00	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
薬学研究科											
薬学専攻(博士課程)	4	2	—	8	博士(薬学)	0.12	0.50	—	平成24	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬科学専攻(修士課程)	2	30	—	60	修士(薬科学)	0.24	0.26	—	平成22	同上	
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(薬科学)	1.16	0.50	—	平成24	同上	
看護学研究科											
看護学専攻(修士課程)	2	15	—	27	修士(看護学)	0.84	0.86	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和3年度定員変更(3)
看護学専攻(博士後期課程)	3	5	—	11	博士(看護学)	2.04	0.80	—	平成29	同上	令和3年度定員変更(2)
大学院全体	—	205	—	430	—	—	—	—	—		

大学 の 名 称	武庫川女子大学短期大学部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士 (日本語文化)	0.84	0.61	—	昭和26	兵庫県西宮市池開町6番46号
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション)	0.67	0.40	—	昭和25	同上
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.56	0.38	—	昭和26	同上
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士 (心理・人間関係学)	0.75	0.55	—	昭和62	同上
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士 (健康・スポーツ学)	0.59	0.48	—	昭和30	同上
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士 (食生活学)	0.62	0.62	—	昭和26	同上
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士 (生活造形学)	0.85	0.74	—	昭和25	同上
短期大学全体	—	700	—	1,400	—	0.69	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 5. 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時  (令和元年)	経営学部の学生としては数学も重要な素養であるため、国語や英語だけでなく数学も入学者の学力担保に取り組みたい。 (助言事項)	改善意見  数学を含む各科目の学力担保に取り組んでおり、学部専門科目の「論理と数理」でその学力不足の補充に努めている。さらに学部専門科目では、たとえば「情報リテラシー」において、統計的仮説検定を理解して独立性を検定する方法から、重回帰分析、ロジスティック回帰分析などの統計解析手法に至る内容を数回に渡って講じるなど、複数の科目で数学的能力の向上をはかっている。あわせて、全学共通の共通教育科目において数学や統計に関する科目を開講し、自由に選択履修することを可能としている。	履行済
認可時  (令和元年)	大学教育として十分な水準か疑義のあった科目は、シラバス上でも学術的な裏付けのある教育であることがわかる記載とすることが望ましい。(助言事項)	改善意見  審査意見の中で「大学教育として十分な水準にあるか不明確」と指摘についてはシラバス上でも学術的な裏付けのある教育であることがわかる記載としよう心掛けている。例えば経営学部専任助教の担当する「キャリアビジョンと人物評価」では、企業研究方法論や集団コミュニケーション論、コンピテンシー理論などの基礎的な理論とこれに対応するSWOT分析など分析方法をあわせて講じることで実践がセットになっていることをシラバスの授業計画の中で示している。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員(各1人)と教務部長及び学長が委嘱した委員(令和3年度は21人)。

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度の委員会の開催は4回(7・10・12・3月)、出席率は68.8%。(4回の平均)。

##### c 委員会の審議事項等

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介
- イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討
- ウ. オンラインによるFD企画の実施(ライブ型研修、オンライン動画公開)
- エ. FDニュースの編集・発行

令和3年度も引き続き、研修会等の実施はオンラインを含めた形で継続していく。

なお、昨年度、コロナ禍において複数回実施した学生・教員対象のアンケート結果を元に、withコロナ・afterコロナにおける学生の学びや授業改善をキーワードに、大学教育のあり方について検討を進めていく予定である。

###### 【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

- オ. 新任教員研修
- カ. 授業改善奨励制度
- キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

##### b 実施方法      c 開催状況(教員の参加状況含む)

ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介

- ・「Café FD」等のFD企画の中での意見交換
- ・「FDニュース」での事例紹介
- ・教員・学生対象のアンケート結果の分析

イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討

- ・学長からの諮問を受けて、従来の授業アンケートの設問を、遠隔・対面・併用全ての科目の共通設問として、結果を比較できる設問への変更案を検討。

ウ. オンラインによるFD企画の実施（ライブ型研修、オンライン動画公開）

- ・全教職員対象FD企画「Café FD」を令和2年8月4日、令和3年3月1日に開催。

エ. FDニュースの編集・発行

- ・「FDニュース第19号」を令和2年12月に発行。ホームページでも公開。

オ. 新任教員研修

例年と同様の15回の集合研修が実施出来ないため、必須事項に特化した内容で計3回、オンラインでの研修を実施した。Googleclassroomを活用してオンデマンド型の資料提示と講義動画を配信し、それに対して参加者から提出されたレポートをオンライン（ライブ）で共有して理解を深めた。

3回の研修後にも、新任教員と学長、副学長、事務局長の他、先輩教員のフリーディスカッションをオンラインで実施したり、回数を減らしたことで見送りとなった内容については後期にオンデマンド教材を作成して、配信した。この経験を踏まえ、令和3年度は対面中心から全オンラインまでの3つの実施方式による15回のプログラムを計画し、緊急事態に備えている。

カ. 授業改善奨励制度

日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度。

キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

コロナ禍において遠隔授業を進めるにあたり、全学生、全教員に円滑かつ実質的な学習活動を行うための方策を徹底するため、特別チームを編成した。GoogleClassroomを活用した遠隔授業の方針を決め、通信システムをハード面の整備、マニュアルやガイドラインの作成、教員研修等に取り組んだ。また、教員・学生に対して複数回じめとするアンケートを実施し、FD推進委員会と連携してコロナ禍における本学の教育の実態を把握し、改善策を検討した。

ク. 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・平成26年4月から、事務局組織に「教育開発支援室」を設置し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。
- ・コロナ禍において、令和2年度は前期の授業が全て遠隔授業に、後期も遠隔授業を併用した授業運営になったため例年実施している授業公開は行わなかった。その代わりに教員・学生対象にアンケートにより実態を把握し、その情報を共有したり、オンラインを通じての教員間の意見交換の機会を設定することで、授業の質の担保・改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

但し、令和2年度の前期については、通常の授業アンケートは実施せず、遠隔授業に関するアンケートを2回実施した。

a 実施の有無及び実施時期

- (1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）
- (2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度の令和2年度はコロナ禍の中、第一期生の学生たちが本学科のカリキュラムの中心である「実践学習」の一環として学外の様々なプロジェクトに参加した。開設から1年が経過した現時点においてはまだ評価・所見を表明する段階にはないが、初年度はコロナ禍の中で40以上のプロジェクトを用意し、これに学生延べ270人が参加するなど着実に成果を上げている。

今後も学部を設置趣旨・目的である「幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力とと意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで”しなやかな女性キャリア”の実現に貢献する」という目的達成に向け、設置計画を着実に履行したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

自己点検・評価報告書については認証評価のサイクルにあわせて7年ごとに作成している。

令和3年度報告書は令和5年3月公表予定。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [ 有 ・ 無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○武庫川女子大学FD推進委員会規程

平成20年1月1日

規程第1号

改正 平成23年4月1日

平成24年4月1日

平成26年4月1日

平成27年4月1日

平成29年4月1日

平成31年4月1日

令和2年4月1日

(目的)

第1条 武庫川女子大学の教育理念及び学部等の教育目標の実現を目指し、社会に役立つ有為な人材を育成するために、教員の資質向上や、主体的・恒常的に行う授業の内容及び方法の改善に資することを主たる目的とし、大学全体で組織的に教育水準の質的向上を推進するため、学長の下に、武庫川女子大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 文学部各学科から推薦された委員 各1名 計3名
- (2) 教育学部から推薦された委員 1名
- (3) 健康・スポーツ科学部から推薦された委員 1名
- (4) 生活環境学部各学科から推薦された委員 各1名 計2名
- (5) 食物栄養科学部から推薦された委員 1名
- (6) 建築学部から推薦された委員 1名
- (7) 音楽学部から推薦された委員 1名
- (8) 薬学部から推薦された委員 1名
- (9) 看護学部から推薦された委員 1名
- (10) 経営学部から推薦された委員 1名
- (11) 共通教育部から推薦された委員 1名
- (12) 教務部長
- (13) 学長が委嘱する委員 若干名

- 2 委員長及び副委員長をおく。委員長及び副委員長は、学長が指名する。
  - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は、これを補充しなければならない。補充によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。
- (審議事項)

第3条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

(会議)

第4条 委員会は、原則として毎月1回会議を開く。

- 2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 4 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、教育開発推進室教育開発・IR推進課が担当する。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、FD推進委員会の意見を聴いて、学長が決定する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会の議を経て委員長が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年1月1日から施行する。
- 2 第2条第3項の規定にかかわらず、委員会設置当初の任期は平成20年1月1日から平成21年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。



## シラバス参照

年度	2021
科目名	論理と数理入門
担当者名	藤井 善仁
単位	2

★★「単位」には開講学年の単位が表示されています。★★

★★「単位」が「-(ハイフン)」で表示されている場合は各自の履修便覧で単位を確認してください。★★

<p style="text-align: center;"><b>科目目的</b> Course Objectives</p>	<p>大学生生活を有意義に過ごすためには与えられた「情報」をどのように整理し、どのように処理（作業）をしていくのかという「力」が必要となる。こうした「力」は意識しなければ自然と身につくものではないが、訓練により誰しもその「スキル」が向上していくものである。</p> <p>この授業では、大学生として今後、就活等でも必要となる「社会人基礎能力」の基礎となる「力」を訓練していくことを目的とする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>到達目標</b> Class Goal</p>	<p>第一に、論理や数理能力が社会や自分の身近な生活にとって、関連性が希薄とされている学生を対象に、筋道立てて論理的に考え、それらを簡単な数式で表現することの「面白さ」と「楽しさ」を実感してもらうこととする。第二に、初等的な数学知識を使い、基礎的計算テクニックの向上、文章題から必要な「情報」を整理し、簡単な「数式」を導き出せることを目標とする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>授業内容</b> The Content of the Course</p>	<p>「論理編」では、就職試験（民間就職・公務員試験など）で必要となる筆記試験対策（SPIなど）として、「判断推理」能力の基礎を高める練習を実践していき、「数理編」では、「数的推理」能力の基礎を高める練習を実践していくこととする。</p> <p>また、論理と数理の基礎訓練を通じて、大学生として必要なリテラシー能力も鍛錬する。「リテラシー」とは、狭義には「読み書き」の力を意味するが、皆さんが触れる情報やすでにある知識を自在に活用していく「力」のことでもある。</p> <p>さらに、公務員試験やSPIの問題を題材に数的処理を苦手とする学生に対し、問題を「解く」作業の重要性と楽しさを丁寧かつ平易に説明することとする。併せて、ただ計算を行うのではなく、文章題の中で「なぜ」そのような式を立てることができるのかという「数式の意味」を重視した授業を展開する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>授業計画</b> Class Plan</p>	<p>【授業回数】 15回</p> <p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方など）および整数（倍数と約数）          第2回 剰余、整数の性質、カレンダー          第3回 数列、n進法          第4回 割合と比、売買算          第5回 濃度、速さ（旅人算）          第6回 速さ（通過算）、場合の数          第7回 順列と組合せ、確率1（確率の基礎概念）          第8回 確率2（じゃんけんの確率）          第9回 論理と命題（対偶、ベン図の基礎、三段論法）          第10回 ド・モルガンの法則、キャロル図          第11回 交わりの最小個数、順序、連環の順、勝ち負け          第12回 真偽（真偽の基礎と考え方、ウソの発言）</p>

	<p>第13回 方程式・不等式1（一次方程式の解法、一次不等式の解法）</p> <p>第14回 方程式・不等式2（過不足算、年齢算、平均算）</p> <p>第15回 授業の総括としての「理解度確認テスト」</p>
<p><b>授業方法</b> Class Method</p>	<p>プレゼンター（書画カメラ）を用い、教材（講義ノート）をスクリーンに映写した効果的な授業を行う。講義形式を基本としつつ、問題演習を多く取り入れた授業を展開する。</p> <p>また、対面授業であっても、授業動画は毎時、YouTubeにアップし、オンデマンド形式で予復習に活用できるように配慮する。質問対応に関しては、対面でも遠隔（zoomでの個別対応）でも学生の希望に応じて適宜、対応する。</p>
<p><b>アクティブ・ラーニングの形態</b> Form of Active Learning</p>	<p>自主学习支援（google classroomやSNS）を活用する。毎時、授業動画をYouTubeにアップするので、各自、予習・復習に活用することが望ましい。</p>
<p><b>準備学習（予習・復習等）</b> Review and Preview</p>	<p>講義ノートの予復習課題を解くことで、予習・復習に活用すること（毎回の授業で課題を指示することとする）。</p>
<p><b>評価方法</b> Evaluation Method</p>	<p>・レポート[作品含む](60点)</p> <p>・平常点(40点) 平常点等配点内訳:</p> <p>⇒レポート（60点）：最終授業で実施する理解度確認テスト</p> <p>⇒毎回の授業で実施する小テスト（25点）</p> <p>⇒コメントシート（15点）</p>
<p><b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法</b> Task Feedback</p>	<p>毎回の授業で配布するコメントシートは、次回授業時冒頭で受講者全体向けにフィードバックを行う。匿名性を担保し、受講者全体に有益な質問（質問=公共財）への回答を毎回、行うことで積極的に疑問点を質問できるように最大限、配慮する。</p>
<p><b>教科書</b> Textbook</p>	
<p><b>教科書コメント</b></p>	
<p><b>参考書</b> Reference Books</p>	
<p><b>地域との連携</b> Cooperation with the Community</p>	
<p><b>受講上の注意</b> Notices</p>	<p>数学や数字、図解などに苦手意識がある場合でも、理解できるように丁寧な解説をしますので、積極的に履修して下さい。授業外における対面式での質問ができない場合でも、遠隔（zoomなど）で質問の対応をしますので、心配はありません。</p> <p>毎回、授業内に問題を「解く」ことで、論理と数理に慣れることを目標にしているため、欠席することなく、授業に参加することが最も肝要となる（授業に参加し、不明点を逐次、質問できる環境を作ること、授業内容を全員が理解できるように最大限サポートを行う）。</p>
<p><b>卒業(修了)認定・学位授与の方針との関連</b> Relation to the Diploma and Degree Policy</p>	<p>1. 知識・理解</p> <p>1-2 自らが目指す将来キャリアで活躍するために必要な基礎的・専門的知識を習得している。</p> <p>2. 技能・表現</p> <p>2-1 自らの暮らしを環境にあわせて柔軟にデザインするための技能を習得している。</p>
<p><b>実務経験と授業との関連</b> How the Instructors'</p>	<p>民間企業における採用担当経験や行政機関での人材育成（職員研修）経験を生かした授業を展開する。</p>

シラバス参照

このウィンドウを閉じる

## シラバス参照

年度	2021
科目名	文化を創造する数学
担当者名	神原 一之
単位	2

★★「単位」には開講学年の単位が表示されています。★★

★★「単位」が「-(ハイフン)」で表示されている場合は各自の履修便覧で単位を確認してください。★★

<p><b>科目目的</b> Course Objectives</p>	<p>文化を創造してきた数学の世界を知的探究することを通して、社会人としての基礎的教養を伸長することを目的とする。具体的には江戸時代の日本の数学「和算」から今日的な数学の話題まで、数学のよさを見出したり、解法を説明したりする数学的活動を通して、大学入学までに学習してきた数学の意味や意義を考察する。</p>
<p><b>到達目標</b> Class Goal</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化を創造してきた数学の文化的価値・陶冶的価値について説明できる。</li> <li>・数学の基本的問題を解決することができる。</li> </ul>
<p><b>授業内容</b> The Content of the Course</p>	<p>前半は、日本が世界に誇り貢献してきた数学の内容（『塵劫記』など）と現代の数学との関連について考察する。後半は、今日的な世界や数学との関連のある話題について考察する。いずれも実際の問題を解決しながら、これまで学んできた数学の意味や意義を問い直す内容である。</p>
<p><b>授業計画</b> Class Plan</p>	<p>【授業回数】 15回</p> <p>第1回 「12に秘められた数の秘密を解き明かす」          第2回 「音を聞いて数を当てる」          第3回 「□にあてはまる数字を当てる」          第4回 「論理的思考を鍛える」①          第5回 「論理的思考を鍛える」② 小テスト①          第6回 「論理的思考を鍛える」③          第7回 「難しい数字を使わないビジネスの数学をする」          第8回 「平均を理解できていない大人たちにならない」          第9回 「分岐点を知らない人はビジネスでも損をする」          第10回 「理由を説明できる大人になる」 小テスト②          第11回 「数学で整理上手になる」          第12回 「数学アレルギーを克服する」①          第13回 「数学アレルギーを克服する」②          第14回 「ビジネスシーンで得をするテクニック」          第15回 まとめ（レポート作成） 小テスト③</p>
<p><b>授業方法</b> Class Method</p>	<p>問題演習を中心にしながら、その解法を自ら説明する数学的探究活動により授業（オンデマンド型）を構成する。</p>
<p><b>アクティブ・ラーニングの形態</b> Form of Active Learning</p>	<p>問題演習の解法を自ら説明する数学的探究活動を取り入れる。</p>
<p><b>準備学習（予習・復習等）</b> Review and Preview</p>	<p>高等学校入学程度の数学は復習しておくこと          予習：授業内に指示された内容を予習し、課題を考察してくること。          復習：講義内容を復習し、専用のノートにまとめ演習課題を復習すること。</p>

	レポートについては、講義内で説明する。計画的に取り組み質の高い仕上がりにすることが求められる。
<b>評価方法</b> <b>Evaluation Method</b>	・平常点(100点) 平常点等配点内訳:小テスト3回(45点), 授業への積極的参加・授業確認課題(30点)・レポート(25点)
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法</b> <b>Task Feedback</b>	小テストは評価後, 授業中に解説を行う。 毎回の授業内で, 取り組んだ課題について解説を行う。
<b>教科書</b> <b>Textbook</b>	
<b>教科書コメント</b>	
<b>参考書</b> <b>Reference Books</b>	「仕事」に使える数学/深沢真太郎/ダイヤモンド社 論理パズル/Newton/Newton 和算でパズルを/佐藤健一/東京書籍
<b>地域との連携</b> <b>Cooperation with the Community</b>	
<b>受講上の注意</b> <b>Notices</b>	毎回の授業で使用できるよう定規・コンパス・はさみ・のり, およびA4版ノート を準備しておくこと  【重要】 2019年度より, 共通教育科目では「授業公欠」の扱いを全廃し, 共通教育の受験資格を変更している。これに伴い, 授業では学修成果のアウトプットの回数を増やし, 多面的な評価を行う方向に変えている。 このため, 事前に分かっている欠席や体調不良等での突発的な欠席もありうることを踏まえ, 安易に欠席しない受講態度が不可欠となる。 (詳しくは「共通教育サイト」を参照すること。) なお, 学科の基礎教育科目, 専門教育科目, および資格課程科目は従来通りの履修ルールで実施される。
<b>卒業(修了)認定・学位授与の方針との関連</b> <b>Relation to the Diploma and Degree Policy</b>	
<b>実務経験と授業との関連</b> <b>How the Instructors' Experiences will shape Course Contents</b>	中学校で, 数学科教員, 管理職として勤務。学校現場で培った経験を基に, 社会人の教養としての数学の基礎・基本を指導する。

シラバス参照

このウィンドウを閉じる

## シラバス参照

年度	2021
科目名	キャリアビジョンと人物評価(2)
担当者名	藤井 善仁
単位	2

★★「単位」には開講学年の単位が表示されています。★★

★★「単位」が「-(ハイフン)」で表示されている場合は各自の履修便覧で単位を確認してください。★★

<p style="text-align: center;"><b>科目目的</b> <b>Course Objectives</b></p>	<p>大学生として、就職活動を展開する際、単に自分の「経験」という直感的理解や勘を介在させて活動していくことは必ずしも望ましい成果をもたらさない。したがって、一般企業であれ、公務員の採用試験であれ、人物評価を客観的に理解しておくことが望まれる。そして、人物評価法の正しい認識と採用面接における評価軸を前提として、自らの「価値づけ」を行うことが不可欠となる。</p> <p>この授業では、採用面接を客観的、分析的に理解することで、戦略的な事前準備の方法論を紹介し、良い意味で「印象」を残すための志望動機と自己アピールの「考え方」と実践方法（フレームワークの利用）を様々な事例を通じて学んでいくことで、就職活動における学生の不安を軽減することをその目的とする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>到達目標</b> <b>Class Goal</b></p>	<p>面接対策は、他者の主観に左右される側面があることも事実ではあるが、人物評価法の「考え方」と「事前準備」によって、効果的な準備が可能となることはいうまでもない。この授業では各自が自分の強み（希少性）を生かした自己アピールができるようになることを目標とする。</p> <p>コロナ禍の影響により、就職活動がそのルールのみならず、手法等にも大きな変化がみられていることは事実である。しかしながら、優秀な学生を獲得したい企業側や行政側のスタンスには何ら変化はない。重要なことは、特別な経験を積むことではなく、学生各自に内在している潜在的な力を顕在化させることと考える。そのために「ないもの探し」から「あるもの探し」という発想の転換を促し、自分に合った職探しの契機をつくることを最大の目標とする。</p>
<p style="text-align: center;"><b>授業内容</b> <b>The Content of the Course</b></p>	<p>就職活動で重要となるのが、人物試験（面接試験）となる。近年、社会情勢の変化により民間就職のみならず、公務員試験においても、人物重視になるなど、その選抜方法にある種の「変化」が生じている。面接試験は学生生活での経験を通じて得た「教訓」や「成長」という「人間力」を総合的に見るという意味において、志望動機よりも自己アピールの方が圧倒的に難しく、それゆえ主観に左右されない客観的な分析のフレームワークと価値観を理解しておくことが重要となる。</p> <p>この授業の眼目は各履修者が自分なりに納得した評価軸にもとづいて職務や組織に適合できる素地を獲得することにある。</p>
<p style="text-align: center;"><b>授業計画</b> <b>Class Plan</b></p>	<p>【授業回数】 15回</p> <p>1回：オリエンテーション（授業の進め方と「その周辺」）</p> <p>2回：就職活動の基礎1（近年の社会情勢の理解とキャリアビジョン設定の重要性）</p> <p>3回：就職活動の基礎2（近年の一般企業を取り巻く雇用情勢の理解と企業研究の</p>

	<p>方法論)</p> <p>4回：企業研究の基礎と面接対策の基礎（志望動機の考え方）</p> <p>5回：筆記試験（SPI他）対策の基礎知識および一般企業と公務員試験との類似性</p> <p>6回：自己評価の方法論（定量分析と定性分析）および自己評価・他者分析のフレームワーク</p> <p>7回：IR（インベスター・リレーションズ）情報の読み方および公務員試験制度の基礎知識</p> <p>8回：中間レポートの作成</p> <p>9回：コンピテンシーの基本概念と自己評価の方法論（分析アプローチと総合アプローチ）</p> <p>10回：コンピテンシーの実践概念と特性要因図（フィッシュボーン）の活用法</p> <p>11回：オリジナリティの考え方と「自己評価」の進め方</p> <p>12回：マインド・セットとテクニカル・セットおよびSWOT分析の活用法</p> <p>13回：自己評価と評価基準および人物評価の基礎（個別面接・集団面接）</p> <p>14回：集団コミュニケーション、グループワーク総論</p> <p>15回：最終レポートの作成</p> <p>※ 授業人数により、授業方法を変更する可能性がある。</p>
<p><b>授業方法</b> Class Method</p>	<p>遠隔授業(オンデマンド型)を中心に、場合によっては対面授業を織り交ぜながら実施していく予定である。仮に対面授業であっても、授業動画は毎時、YouTubeにアップし、オンデマンド形式で予復習に活用できるように配慮する。質問対応に関しては、対面でも遠隔（zoomでの個別対応）でも学生の希望に応じて適宜、対応する。</p> <p>また、授業を中心とするが、履修人数によって、グループワークやプレゼンテーションの練習を予定する。</p>
<p><b>アクティブ・ラーニングの形態</b> Form of Active Learning</p>	<p>自主学習支援（google classroomやSNS）を活用する。</p>
<p><b>準備学習（予習・復習等）</b> Review and Preview</p>	<p>毎回、講義ノートを配布し、授業動画をYouTubeにアップするので、各自、予習・復習に活用することが望ましい。</p> <p>&lt;予習&gt; 直近の時事的動向について、自分なりに現状の把握に努め、「課題」を見出すこと。</p> <p>&lt;復習&gt; 授業で得た知識や経験を日常生活の中で実践していくことで、「課題」に取り組むこと。</p>
<p><b>評価方法</b> Evaluation Method</p>	<p>・平常点(100点) 平常点等配点内訳: ⇒毎回の授業で課すコメントシート（20%） ⇒第8回授業で実施する中間レポート作成（40%） ⇒最終授業で実施するレポート作成（40%）</p>
<p><b>課題(試験やレポート等)に対する フィードバックの方法</b> Task Feedback</p>	<p>毎回の授業で実施するコメントシートは、次回授業時冒頭で受講者全体向けにフィードバックを行う。匿名性を担保し、受講者全体に有益な質問（質問=公共財）への回答を毎回、行うことで積極的に疑問点を質問できるように最大限、配慮する。</p>
<p><b>教科書</b> Textbook</p>	
<p><b>教科書コメント</b></p>	
<p><b>参考書</b> Reference Books</p>	

<p><b>地域との連携</b> Cooperation with the Community</p>	
<p><b>受講上の注意</b> Notices</p>	<p>【重複履修の注意】 この授業は、2019年度に開講された「就活リテラシー」を改訂した科目で大半の内容が重複している。したがって、2019年度に「就活リテラシー」を受講した学生の履修は原則、認めないものとする。</p> <p>【重要】 2019年度より、共通教育科目では「授業公欠」の扱いを全廃し、共通教育の受験資格を変更している。これに伴い、授業では学修成果のアウトプットの回数を増やし、多面的な評価を行う方向に変えている。 このため、事前に分かっている欠席や体調不良等での突発的な欠席もありうることを踏まえ、安易に欠席しない受講態度が不可欠となる。 (詳しくは「共通教育サイト」を参照すること。) なお、学科の基礎教育科目、専門教育科目、および資格課程科目は従来通りの履修ルールで実施される。</p>
<p><b>卒業(修了)認定・学位授与の方針との関連</b> Relation to the Diploma and Degree Policy</p>	
<p><b>実務経験と授業との関連</b> How the Instructors' Experiences will shape Course Contents</p>	<p>民間企業における採用担当経験や行政機関での人材育成（職員研修）経験を生かした授業を展開する。</p>

シラバス参照

このウィンドウを閉じる